

# ScreenBeam 960 ワイヤレスディスプレイレシーバー（受信機）

## クイックスタートガイド

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
このクイックスタートガイドは本製品を正しく使用いただくために、導入手順を説明します。

### 事前準備

本製品を設置する前に、ファームウェアの最新バージョン、最新の技術情報など弊社ウェブサイトにて確認することをお勧めします。

- ファームウェアアップグレードとリリースノートを下記のURL（英語）で確認できます：  
<https://support.screenbeam.com/960>
- MiracastとネイティブmacOS/iOSのワイヤレスディスプレイ接続手順について下記のURL（英語）で確認できます：  
<https://www.screenbeam.com/setup>
- 弊社のScreenBeam製品を一括リモート管理ソフトウェア、セントラルマネージメントシステム（CMS）について下記のURL（英語）で確認できます：  
<https://support.screenbeam.com/cms>
- 弊社ScreenBeam製品のオープンソース情報について下記のURL（英語）で確認できます：<https://opensource.screenbeam.com>



### 技術情報

FAQ、トラブルシューティング情報など下記のURL（英語）：

<https://support.screenbeam.com>

### 問い合わせ

問い合わせ先は下記のURL（日本語）：

<https://www.screenbeam.com/ja/contact-us/>

## パッケージ内容

- ScreenBeam960ワイヤレスディスプレイレシーバー本体
- クイックスタートガイド (本紙)
- 電源アダプター
- 保証書
- HDMIケーブル

## システム要件

### 最小要件

Windows 7 以上

macOS X 10.10 以上

iOS 9 以上

Android 4.2 以上 (Miracastサポート)

### ネットワーク要件

弊社のウェブサイトをアクセスして最新の情報を入手できます。

**注:** Miracast対応のクライアントデバイスはMiracast接続するにはネットワーク構成の変更と追加の必要がありません。ただし、グループポリシーおよびファイアウォール設定はWi-Fi Direct Groupsを許可する必要があります。

### 設置要件

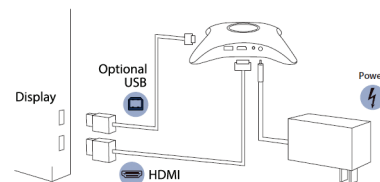
- ScreenBeam960ワイヤレスディスプレイレシーバー
- HDMI入力を備えたディスプレイ
- DHCPサポートする有線ネットワークまたはWi-Fiルーター (必須ではありません) ”

**注:** このネットワーク接続はネットワーク経由の画面ミラーリングとCMSに利用されます。

- ScreenBeamワイヤレスディスプレイアプリケーション (必須ではありません)

**注:** このアプリケーションはwindows7だけ必要です。Windows10、macOS、iOSは必要ありません。

## A. ワイヤレスディスプレイレシーバーのセットアップ



### 図1 接続ガイド

- 1 デ스플레이の近くにレシーバーを配置します。
- 2 HDMIケーブルをレシーバーとディスプレイ両方にしっかり接続します。  
**注:** VGAケーブルを利用する場合、ユーザーマニュアルを参照してください。
- 3 オプション: ディ스플레이にタッチ機能がある場合は、ScreenBeamのUSBコネクタとディスプレイのHID USBコネクタにUSBケーブルで接続します。(USBケーブルは別途用意が必要)
- 4 電源アダプターを接続します。
- 5 オプション: 有線イーサネットケーブルでScreenBeamとDHCP対応しているネットワークスイッチに接続します。(イーサネットケーブルは別途用意が必要)。  
**注:** ネットワーク接続セットアップの詳細については、セクションBを参照してください。
- 6 ディ스플레이の電源をオンにして、ScreenBeam対応する入力に切り替えます。
- 7 ディ스플레이に「機器の接続を待っています」という待機画面が表示されるのを待ちます。

## B. ネットワーク接続のセットアップ

ScreenBeamには、ネットワーク経由するワイヤレスディスプレイ機能や受信機のリモート管理(CMS)機能でネットワーク接続が必要です。有線と無線両方接続できます。

### 有線接続

ScreenBeamがDHCP対応ネットワークに接続されている場合、[機器の接続を待っています]画面にはScreenBeamに割り当てられたIPアドレスが表示されます。

### ワイヤレス接続と静的IPアドレス。

この設定手順のステップは多くになります。詳細なセットアップ方法については、ユーザーマニュアルを参照してください。初回セットアップには、DHCP対応した有線接続の使用をお勧めします。

## C. クライアントデバイスの接続

このセクションでは、最も一般的なオペレーティングシステムのネイティブ画面ミラーリング機能で、ScreenBeamに接続する方法について説明します。

他のオペレーティングシステムの詳細手順については、[www.screenbeam.com/setup](http://www.screenbeam.com/setup)で確認できます。

**注:** 上記URLには、クライアントデバイスのOSに基づいた指示が表示されます。Webページの下部にあるリンクを使用して、OS固有の手順を確認できます。

### Windows10/8.1デバイス

ここでWindows10デバイスについて説明します。Windows8.1の手順とは違う場合があります。

- 1 WindowsキーとKを同時に押すか、アクションセンターから[接続]を選択します。
- 2 検索画面で、検索した受信機名を表示されます。
- 3 ディスプレイに表示されているScreenBeam受信機名を選択します。
- 4 PINコードが要求された場合、ディスプレイに表示されたPINコードを入力します。PINコードが表示されない場合は、デフォルトのPINコード 1234を試してください。
- 5 オプション: ディスプレイにタッチ機能がある合、Windows 10デバイスは、[…タッチを許可する]チェックボックスにチェックして、タッチおよびインク機能を利用できます。(詳細については、セクションFを参照してください)。
- 6 オプション: 投影モードの変更で、複製または拡張の投影モードを変更できます。

**注:** 画面ミラーリングを切断と投影モードの変更は、ステップ1の手順画面で操作できます。

## iOSデバイス

iPadまたはiPhoneでiOS 11または12を使用して接続するには、以下の手順に従ってください。

他のiOSバージョンの手順は異なる場合があります。

- 1 iOSデバイスのWi-Fiがオンになっており、ScreenBeam 960が接続されているのと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 下から上にスワイプするか、iOSデバイスの画面の右上隅から下にスワイプして、コントロールセンターを開きます。画面ミラーリングアイコンをタップし、使用可能な受信者が表示されるまで待ちます。
- 3 初期画面が表示される受信機名と一致する受信機を選択します。
- 4 必要に応じて、PINコードを入力します。  
**注：画面ミラーリングを終了するには、ステップ3の手順で、停止を選択します。**

## MacOSデバイス

MacBookでmacOSを使用して接続するには、次の手順に従ってください。

他のmacOSバージョンの手順は異なる場合があります。

- 1 iOSデバイスのWi-Fiがオンになっており、ScreenBeam 960が接続されているのと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 メニューバーで、画面ミラーリングアイコンを選択し、使用可能な受信機が表示されるまで待ちます。  
**注：画面ミラーリングオプションアイコンが表示されていない場合は、アップルメニュー> [システム環境設定]> [ディスプレイ]に移動し、[使用可能な場合はメニューバーにミラーリングオプションを表示する]チェックボックスをオンにします。**
- 3 初期画面が表示される受信機名と一致する受信機を選択します。
- 4 必要に応じて、PINコードを入力します。
- 5 [個別のディスプレイとして使用]オプションを選択して、デスクトップを拡張します。  
**注：切断するには、画面のミラーリングメニューに戻り、ミラーリングオフを選択します。**

## D. ScreenBeamレシーバーの設定

ScreenBeam960は、ScreenBeam CMSソフトウェアまたはローカル管理インターフェイス(LMI)を利用して設定できます。

### ScreenBeam CMSソフトウェアの使用

ScreenBeam Central Management System(CMS)は、複数受信機の設定および管理できる弊社の無料ツールです。

- 1 CMSソフトウェアとCMSユーザーガイドを入手するには、次のURLへ：  
<https://support.screenbeam.com/cms>
- 2 CMSの詳細情報については、CMSユーザーガイドを参照してください。

注:ScreenBeam960がScreenBeam CMSに接続されている場合、LMIへのアクセスはデフォルト設定で禁止されています。また、このデフォルト設定は変更できます。

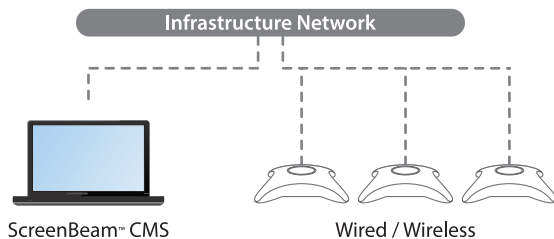


図2 ScreenBeam CMSによって管理されているScreenBeam受信機

## ScreenBeamでローカル管理インターフェイス(LMI)の使用

LMIは、単一のScreenBeamレシーバーの設定を変更できます。CMSを使用している場合、LMIの利用必要がありません。

### LMIのアクセス

LMIにアクセスするには、次の2つの方法があります：

#### 方法1:DHCP対応の既存有線ネットワークを利用

- 1 Cat 5e以上のイーサネットケーブル(RJ45)を使用して、ScreenBeamイーサネットポートをDHCP対応ネットワークに接続します。
- 2 ScreenBeamレシーバーの[機器の接続...]画面に、ScreenBeamに割り当てられたIPアドレスが表示されます。ScreenBeamと同じネットワーク上のPCまたはAppleデバイスのWebブラウザのアドレスバーにこのアドレスを入力します。
- 3 ブラウザは「このサイトへ接続は安全ではありません」というワーニングを表示する場合があります。次のような手順でアクセスできます。
  - **Chromeブラウザ:**[詳細設定]をクリックし、[実行]をクリックします。
  - **Edge / IEブラウザ:**[詳細]をクリックし、Webページに移動します。
  - **Firefoxブラウザ:**[詳細設定]、[例外の追加]の順にクリックし、[セキュリティ例外の確認]をクリックします。
- 4 ScreenBeamのLMIのログイン画面が表示されたら、ユーザー名「Administrator」とパスワード「screenbeam」(大文字と小文字を区別)を入力します。
- 5 「ログイン」をクリックすると、「機器の設定」ページが表示されます。

## 方法2:ワイヤレスP2P接続を利用

- 1 Windows 10 / 8.1デバイスを使用して、前記のセクションCの[Miracast接続]に従ってScreenBeamにデバイスを接続します。
- 2 Miracast接続が確立されたら、Webブラウザのアドレスバーに下記のURLを入力し、<https://192.168.16.1> でLMIにアクセスします。
- 3 以降の手順は、方法1の3と同じです。

注:セクションEおよびFは、設定のカスタマイズ方法を説明します。

## E. ScreenBeam設定のカスタマイズ

### 「機器の設定」

#### 機器名の変更

- 1 [機器名へアクセス]の項目で、[有効]を選択します。
- 2 [機器名]のテキストボックスに新しい名前を入力します(例:会議TV)。

注:受信機名には一意の名前が必要です。これにより、ユーザーは正確にディスプレイを選択でき、接続しやすくなります。サポートされる文字は、漢字、かな、カナと半角文字A~Z、a~z、0~9、-、\_です。

### 「管理者パスワード」の変更

- 1 [管理者パスワード]テキストボックスに新しいパスワードを入力します。
- 2 [適用/保存]ボタンをクリックして、変更を保存します。

### 「機能」

#### PINコードペアリングの関連設定

“デフォルトでは、「PINペアリングを強制する」はオンで、PINコードはランダムに生成され、新しいユーザー/デバイスが最初の接続だけ、PINコードの入力が要求されます。PINコードペアリング関連設定を変更するには:”

- 1 「PINペアリングを強制する」の項目では、接続時にPINペアリングだけに強制するにはオンを選択し、強制しない場合はオフを選択します。デフォルトはオンです。
- 2 「PINペアリングを強制する」がオンの場合、「毎回」または「初回」を選択できます。デフォルトは「初回」です。
- 3 「PINコードの設定方法」では、「ランダム」または「固定」を選択できます。デフォルトは「ランダム」です。
- 4 「固定」PINコードの場合、新しく決めたPINコードを入力します。忘れないようにメモすることを推奨します。  
注:8桁のPINコードの場合、PINの最初の7桁のみを変更できます。8桁目はScreenBeamによって自動的に設定され、最初の7桁に追加されます。
- 5 [適用/保存]ボタンをクリックして、変更を保存します。

## HDMI / VGAポートの電源管理

デフォルトでは、ScreenBeamは「機器の接続を…」画面を出力します。ディスプレイの寿命を延ばし、消費電力を削減するには:

- 1 スクリーンセーバーまたはディスプレイオフを選択します。
- 2 アイドルタイマーを入力します。
- 3 オプション: ウェイクアップモードを選択します。
- 4 [適用/保存]ボタンをクリックして、変更を保存します。

## F. タッチ機能付きのディスプレイの使用

ScreenBeam 960は、タッチディスプレイを使用したコラボレーションのために、Windows 10とのワイヤレス接続を介したタッチまたはペンをサポートしています。

### システム要件

OS: Windows 10ビルドバージョン1607以上

CPU: 第4世代Intel Core i-Series 4xxx以上または同等のAMD

RAM: 4 GB以上

### セットアップ要件

- タッチ機能付きのディスプレイまたはプロジェクター
- USBケーブル (ScreenBeam側のコネクタタイプはType-A)

## 対応機能

- USB HID対応のディスプレイ、プロジェクターまたはホワイトボード
- 最大20点のマルチタッチ
- 最大4つのパッシブペン

互換性のあるタッチディスプレイまたはアプリケーションが必要になる場合があります。InGlass™テクノロジー対応ディスプレイを推奨します。

次のURLで互換性リストを参照してください。

<https://support.screenbeam.com/touch/compatibility>

## セットアップ手順

- 1 USB ケーブルのType-A端をScreenBeam960レシーバーのUSBポートに接続します。
- 2 USBケーブルのType-B端をディスプレイまたはプロジェクターのUSBタッチ出力に接続します。  
**注: ディスプレイが複数のタッチ出力を提供する場合、USBケーブルのType-B端がHDMI入力と同じタッチ出力に接続されていることを確認してください。**
- 3 Windows 10デバイスをScreenBeam 1000EDUに接続します (セクションCの手順を参照)。
- 4 アプリの起動、指またはペンで描画などをディスプレイのタッチ機能で使用できます。

## G. ScreenBeamレシーバーの配置

ScreenBeam960を最終配置する前に、ベストプラクティスとヒントについて配置ガイドをお読みください。

- 1 電源アダプター、HDMIケーブル、ScreenBeam960本体の同梱を確認します。
- 2 最終設置場所にScreenBeam960を設置できることを確認します。  
**注:有線または無線ネットワークのアクセスが必要な場合、ネットワークも確認します。**
- 3 HDMIケーブルをScreenBeam960本体とディスプレイに接続します。
- 4 電源アダプターをScreenBeam960の本体に接続します。
- 5 ディスプレイの入力をScreenBeam960に合わせて、「機器の接続を…」の画面が表示されることを確認します。
- 6 ScreenBeam960はネットワークと接続していれば、取得したIPアドレスも表示されます。

## サポート情報

FAQ、トラブルシューティング情報とサポートについては、下記のURL(英語)をご覧ください。

<https://support.screenbeam.com>

問い合わせ先は下記のURL(日本語)：

<https://www.screenbeam.com/ja/contact-us/>

メールでの問い合わせ(日本語)：

[japan-sales@screenbeam.com](mailto:japan-sales@screenbeam.com)

ウェブサイト：[www.screenbeam.com](http://www.screenbeam.com)

この製品は、「Class2」とマークされた電源ユニット、「L.P.S」とマークされた電源アダプタまたはDC電源(定格5Vdc、最低2A)を利用します。